



Title	『十七番詩歌合』について
Author(s)	伊井, 春樹
Citation	詞林. 1996, 19, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/67380">https://doi.org/10.18910/67380</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 『十七番詩歌合』について

伊井 春樹

本書が初めて世に紹介されたのは、「思文閣古書資料目録」第一三六号（平成五年九月）においてで、そこでは「十七番詩歌合 一卷 伝藤原為家筆 鎌倉末期頃写 孤本」とし、「一番より十四番まで存、肥田孫左衛門旧蔵、古筆了榮極札付、紙高31糎、長さ3米、卷子装、箱入」と記した後、成立について考察した添え状の紹介をする。カラー写真によって資料の大半が掲載（五番右の和歌を欠く）されており、これだけでも資料として一応利用するには充分であった。この詩歌合にすぐさま注目したのは井上宗雄氏で、「一条実経について」（『研究と資料』30輯、平成五年一月）、「和歌史研究について」（『国学院雑誌』平成六年一月）の論考において、「建治元年九月家経歌合」との関連の深さとともに、これも同年秋に一条家による主催ではないかと提唱されたのである。

本書はその後大阪青山短期大学の所蔵となり、調査する機会を得、内容についても詳細に検討することになったため、こ

に書誌とともに経緯を報告する次第である。箱蓋には「十七番為家 肥田孫左衛門」と打ち付け書き、箱横に貼付された紙片には「為家卿／詩歌合／巻物」とし、極札には「為家卿 詩歌合／蘆水舟 一卷（琴山）」「蘆水舟 詩歌合 一卷 丑七（榮）」とする。為家筆とするのは明らかではないが、鎌倉期の書写であることはいうまでもない。

卷子の天地は、三一・二センチ。表紙は緑地の緞子に、卍、柑子、木葉等の織文、見返しは斐紙に金箔布目押し。箱には、次のような添え状が収められる。

為家卿拾七番詩歌合一巻／此軸者從來肥田孫兵衛殿秘蔵之処先年前大納言様御所望ニ付末之方三番程御切取／被遊候付為御挨拶青磁花入壺／箇御下渡相成候段承り及候実ニ傑作な懇望致居候処明治初／年頃故有而購獲之歟／思之余茲其意記而已

丙戌秋日

藪下園（有造誌）印

いつの時代か不明だが、もとは肥田孫兵衛（箱書は「孫左衛

門」の所持、それを前大納言が所望し、巻末の三番を切り取ったのだという。「藪下園有造」なる人物が、これを明治の初年に購入し、丙戌(明治一九年)秋に伝来の事情について記したようである。さらに、「不揮瀟庵」と印刷された原稿用紙に「為家歌巻 全長九尺九寸」、「天下の孤本」であるなどと述べ、以下「十七番詩歌合」の成立について考証し、龜山天皇の文永四年から六年の間の成立とする。この成立年次は、井上氏が論じたのが至当であろう。

本文料紙は斐紙、初めに「詩調合」とし、一番の左は漢詩による「女房」、右は和歌の「安嘉門院右衛門佐」とし、以下十番までの詩歌が合わされる。ここで注目されるのは、一番、二番の右に配される阿仏尼(安嘉門院右衛門佐)の和歌の存在で、これは従来知られなかった新出歌である。これを初めとして、漢詩も含めて十四番すべて新資料だけに、鎌倉期における詩歌合の実態とともに本文の意義があるといえよう。さらに一番を終え、次の詩歌が書写される間にはかなりの余白があることで、これは判詞を書き入れるスペースとして用意していたのではないかと思量される。そうすると、これは原本そのものではないにしても、それに近い伝本の位置にあることが予想されてくる。また、巻末の三番分切り取ったため、本来は十七番だったとするのは、果たして正しいのかどうか疑問の存するところだが、混乱を避けることもあつて、しばらくこの名称のままにしておく。

平成五年九月に大阪青山短期大学で本書を購入し後、たまたま拝見した私は、資料的に貴重な存在であると知り、大学院の演習教材として利用することをお許しいただいた。各自が担当して読解に努め、討議を重ねたのだが、最終的にそれらの成果を踏まえて滝川幸司・海野圭介両氏にまとめていただくことにし、「詞林」の特集として編集することにした。私どもの力量不足のためもあつて不明な点も多く、十分な内容とはいえないのだろうが、資料提供の意義もあつてこのように一冊にまとめることにした。なお、このような機会を与えていただいた大阪青山短期大学学長塩川利員氏及び大阪青山短期大学の当局に深甚の御礼を申し上げる次第である。